

保育所民営化で じゅらく保育所はどうなるの？

～保育所の民間移管について知ろう、考えよう～

第1部 講演

講師：大倉 得史 先生

京都大学大学院人間・環境学研究科准教授（発達心理学）
前・京都市子ども・子育て会議 市営保育所移管先選定部会委員

「保育所の民間移管とは何か」

7月11日（土）

13:00 より

15:30 まで

参加費無料

事前申込不要

第2部 意見交換

大倉先生を囲んで、子どもたちのこと、保育のこと、民営化のことなど、皆さんのご意見や疑問点等について話し合いたと思います。

京都市生涯学習総合センター
（京都アスニー）

※じゅらく保育所の東側、
京都市中央図書館の奥です。

3階 第5研修室（和室）

じゅらく保育所の民営化についての情報交換会
を兼ねるための勉強会です。気軽に立ち寄りください。



主催 聚楽保育所 民間移管対策委員会

juraku.kantaisaku@outlook.jp

市営保育所の民営化で、

じゅらく保育所がなくなる?!

2014(平成26)年10月に京都市が策定した『市営保育所の今後のあり方に関する基本方針(改定版)』において、京都市営聚楽保育所を含む6ヶ所の市営保育所の民営化(民間移管)方針が示されました。これに基づいて、京都市営聚楽保育所は2018(平成30)年度に民営化される予定です。民営化に向けた、保育所の移管先の選定は来年、2016(平成28)年度から始まります。

もちろん、素晴らしい保育を実践している民間の保育園はたくさんありますが、そうした保育園を運営する法人が、聚楽保育所の移管先に選ばれるとは限りません。一般的に、京都市の市営保育所は高い水準の保育を提供していると言われています。市営保育所が民営化されることによって、子どもたちの成長に直接関わる「保育の質」が変化してしまうことは、保護者にとっては大きな心配ではないでしょうか。

ひとくちに「保育の質」といっても、その内容は様々です。聚楽保育所をはじめとする市営保育所では、どのような保育が実践されてきたのでしょうか。そして民営化にあたって、わたしたちは移管先にどのような「保育の質」を引き継ぐように求めていけば良いのでしょうか。

今回の勉強会では、京都市子ども・子育て会議の「市営保育所移管先選定部会」で選定委員を務めてこられた大倉得史先生をお招きし、そもそも保育所の民営化とはどういうことなのか、また、市営保育所の保育内容や地域での役割への評価、民営化の問題点等について、お話を伺いたいと思います。ぜひご参加ください!



聚楽保育所保護者会 民間移管対策委員会

聚楽保育所保護者会では2014(平成26)年10月、京都市による市営保育所の民営化(民間移管)方針に対し、現時点での民営化には同意できないことを確認し、保護者有志による「民間移管対策委員会」を発足させました。現在、2016(平成28)年度から始まる移管先法人の選定に向けて、聚楽保育所の保育水準・内容の継承をはじめ、すでに民営化を実施した保育所における子どもたちへの影響や負担等の検証、移管先法人の選定における最低要件の整備・導入等を京都市に要望するため、活動を展開しています。ニュース「たけうま」を発行していますので、ぜひご覧ください。委員会の活動スケジュールや最新情報は委員会のメール(juraku_ikantaisaku@outlook.jp)でも発信しています。お名前と「メール希望」と記したメールをお送りいただければ、どなたでもご登録いただけます。ご意見やご質問も、こちらのアドレスへどうぞ!

※ お送りいただいたメールアドレス等の個人情報は、民間移管対策委員会で厳重に管理し、民間移管に関する情報の発信以外の目的で使用しないことをお約束いたします。

1. 市営保育所の保育とは何か

- ・市営保育所の「保育の質」は相当水準が高い→保育の質とは？

Ex) きれいな建物・遊具？ 英会話・読み書き・体操教室等？ 集団行動・協調性？

→子どもの立場に立ってみれば、これらは本質的な「質」ではない

- ・子どもにとって大切な「保育の質」は次の2側面から成る

- A) 子どもを一人の主体とみなし、その思いを尊重することによって、主体としての心を育てていく保育
- B) 保護者を一人の主体とみなし、その思いを尊重することによって、保護者とともに子どもの主体としての心を育てていく態勢を作り上げていく保育

2. 主体としての心とは何か

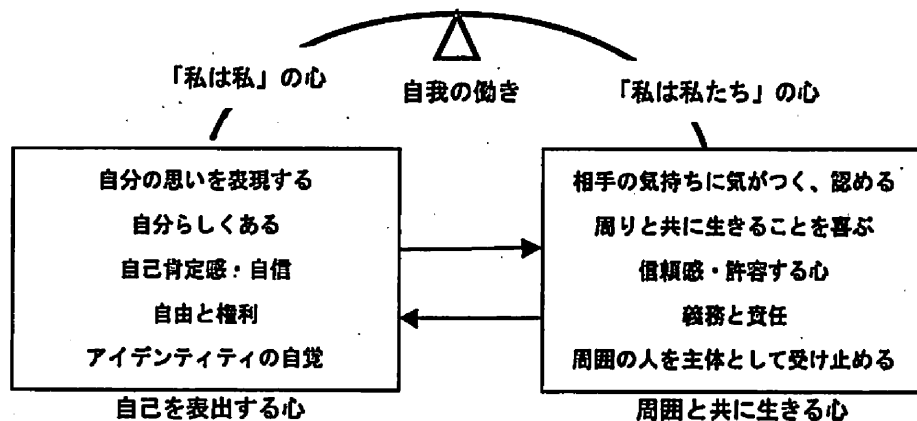


図1 一個の主体は「私は私」の心と「私は私たち」の心の二面からなる

3. 「力」の前に「心」を

- ・「力」を身に付けさせるべく「させる」「教え込む」を受け続けた子どもの自己肯定感の低さ
- ・必要なのは「自分はただ存在しているだけで価値がある」という根拠のない自信
- ・心の育ちは目に見えにくい、五感を駆使して「感じる」ほかないもの
- ・「私は私」と「私は私たち」の心が育ってくれば、生活の中で必要な「力」も自然と育ってくる

4. 主体としての心を育てるための関わり

エピソード記述「ああ～おべんとうおいしかった～！！」

- ・子どもたちや保護者の気持ちの動きへの高い感受性
- ・直接には見えない子どもの体験世界への想像力

⇒保育士としての力量、深い配慮性（さらには自分自身の子育て経験という人間としての厚み）がなければ出会えないエピソード

<保育士の関わりの意味>

①気持ちを受け止める養護的働き（下線部ア、イ、ウなど）

- ・子どもを深く理解し、そっと支え、ゆったりと包み込むような関わり
→「先生がいつも分かってくれる」という安心感・信頼感、「私は私」の心、「私は私たち」の心
※養護的働きがどれほど豊かであるかが、「主体としての心を育てる保育」か否かの分かれ目

②保護者への配慮

- ・保護者の大変さに寄り添い、思いを引き出し、受け止めていこうとする態度

③保育者の願いを返す教育的働き

- ・保育者がしっかりとした願いを持って保育にあたり、養護的働きの自然な延長線上で、子どもや保護者にそれを伝えていく関わり

5. こんな保育に注意する（「能力」育成型保育の徴候）

①プログラムが詰め込まれていて、自由遊びの時間が足りない

Ex) あまりに違う保育内容に、転園を余儀なくされた子も

②大人の指示的な言葉かけが多い

Ex) 保育士も保育を楽しんでおらず、表情が暗い

③保護者とのコミュニケーション不足、または配慮不足

Ex) 一日の様子を聞けないまま黙って帰る、一方的に「アドバイス」「説教」をされる

④行事が「見せるため」の行事になっている

※参考 移管後もじゅうらく保育所の良いところが維持される可能性について（次頁表1参照）

6. 移管という施策の問題点

①市営保育所の保育の質を引き継ぐのは非常に困難である

- ・10年間にわたり経験を積み、研修を重ねることによってようやく身につく実践を、1年間で引き継ぐのは原理的に無理がある（「保育の質は下がない」は虚偽）
- ・引き継ぎ期間後も市営の保育が引き継がれるよう監督する体制がない（研修制度や移管後の検証作業の必要性をいくら訴えても京都市は聞く耳を持たない）
- ・むしろ、京都市にとって「耳触りの悪い」意見書¹やアンケート結果は封殺する（京都市の最大の武器は「情報操作」により、市民に正しい情報を与えないこと）

②障がい児等の配慮が必要な子どもに対する保育の後退

- ・現在の障がい児童数割合は民間3.75%、市営10.48%
⇒民間園で入所を断られるケースを、市営が受け入れているという実態
ア)「子どもの主体としての思いを大切に」という保育の「かたち」
イ)加配が「補助金」ではなく「保育士」で配分されることによる人的資源の豊かさ
※京都市は市営保育所の加配基準を民間並みに引き下げること(!)を検討中

¹ 封殺された意見書（2015年2月19日付）

<http://blog.livedoor.jp/kyotosieihogoya/archives/24164858.html>

表1 「じゅらく保育所の良いところ・好きなのところ」はどうなる？

じゅらく保育所の良いところ・好きなのところ	維持される可能性	備考
子どもらしく遊びの中でいろいろなことをしている。	どちらとも言えない	移管先園の方針による
季節に応じた行事も多く、子どもたちの発想も大切にしている。	どちらとも言えない	行事は大人が考えた内容をやらせるものになりがち
保育所外の散歩なども多い。	やや難しい	散歩に出るための保育士の数が不足しがち
市営保育所間の交流は子どもたちも楽しみ。	非常に難しい	市営保育所との交流は少ないと思われる
手作りおやつを楽しみにしている。	やや難しい	給食はともかく、おやつは既製品になりがち
一人ひとりの個性を大切にしている保育。お稽古的なものが少ない。	やや難しい	市営保育所ほど個性を尊重するのは難しい。保護者人気を考えてお稽古も導入されがち
異年齢集団が成立して、子どもたちがほかのクラスの子や保護者の名前まで知っている。	やや難しい	担任が「自分のクラス以外の子は知らない」という態度でいると、それが子どもにも伝播する
障がい児もわけへだてなく過ごしていることがすごい。	非常に難しい	市営保育所の障がい児対応はなかなか真似できない
職員の対応が親切。安心感がある。	やや難しい	保護者とコミュニケーションを取る必要性を十分感じていない場合がある
保育士がプールも一緒に入ってくれる。	恐らく維持される	去年のせいしん幼児園のプール事故を受けて、京都市もプールに入っている職員の他に、見守りの職員をつけるようにとの国から通達を、覚悟し始めた
保護者会主催の行事などにも保育士が積極的に参加して下さる。	やや難しい	保護者とコミュニケーションを取る必要性を十分感じていない場合がある
先生方はクラス以外のことも気にかけて保育している。	どちらとも言えない	職員間の連携や、他のクラスの子を気にかけるような風土がどの程度あるかによる
地域の子育て支援(めろん組)をしてもらえるので安心。とても助かった。	非常に難しい	京都市が必要な予算をつけないので、移管されると、子育て支援事業は撤廃される。
給食のときも先生が見てくれている。	どちらとも言えない	見てはいるが、どれだけ丁寧(に)子どもの介助をするかは移管先園の実力による
説明会など夜遅くても保育をしてくれる。	やや難しい	そのために人手と人件費を確保しなければならぬのは大きなハードル
連絡ノートは子どもの様子が分かるので有りがたい。	やや難しい	事務連絡的なノートになってしまうことも
園庭が広い、絵本の貸し出しがある。	恐らく維持される	当分の間、園庭に何かを運ぶことはないと思われる
保育1日目から預かってもらえた。保護者のニーズに柔軟に対応してもらえる。	やや難しい	民間園によっては、土曜日に預けるのですら就労証明が必要。
布団があり、バスタオル持参で済む。	どちらとも言えない	移管先園の方針による
園庭解放があり、いつでもウェルカムがうれしい。	やや難しい	人手不足等の理由で、園庭解放日が減られる可能性あり

③京都市全体の保育の質の低下を招く

- ・配慮を要する子どもが残った数少ない市営保育所に集中し、市営の保育が立ち行かなくなる危険性
- ・市営と民間のコスト差は、主に経験年数の差(厚みのある保育には経験が必要)
- ・民間園の過酷な労働条件が「適性」であるという論理を正当化させてしまうことは、民間園にとってもマイナス(いずれはよりコストの安い株式会社へ?)
- ・市営保育所を一つ潰しても、4000万円の削減にしかない
- ⇒今後5年間で見込まれる4700人分の保育需要に対応するためには、「既存福祉施策の見直し(市営の廃止)」などでは到底足りない(予算配分の抜本的見直しが必要)。
- ・市営保育所を有効活用して、「量的拡大」の背後で進む「質の劣化」に対応する必要がある。

※もっと知りたい方は、次の資料をご覧ください。

3年前の意見書(2012年7月23日付)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/cmsfiles/contents/0000126/126416/09.pdf>

保護者会連絡会からの要望書(2015年2月16日付)

<http://blog.livedoor.jp/kyotosieihogoya/%E9%81%B8%E5%AE%9A%E9%83%A8%E4%BC%9A%E3%81%B8%E3%81%AE%E8%A6%81%E6%9C%9B%E6%9B%B8.pdf>

エピソード記述 「ああ〜おべんとうおいしかった〜!!」

<背景>

Kちゃんは3歳7ヶ月の女の子。母は朝早くからの仕事で、毎朝まずKちゃんの兄（小学生）を叔母の家に預け、Kちゃんを保育所に送り、仕事に間に合うように出勤することに精一杯である。Kちゃんは朝はほとんどの日が牛乳だけを飲み、まだ眠っている状態で登所してくる。母の仕事は体力がいる仕事でもあり、仕事が終わる保育所にお迎えに来たときは、疲れ果てた様子のときもある。そんなこともあって、母はKちゃんの様子や保育所自体に関心を示さず、保育所からの手紙や配布物も持って帰ることがなく、個人のノートや配布物を入れたケースにどんどん溜まっていくことが多い。それをKちゃんは気にして、自分で椅子を持ってきて乗り、子どもの手が届かない所にあるケースから配布物を取り出して、自分のロッカーにそっと置くこともあった。

4月からの前半期、Kちゃんは1日を通して様々な場面で母を求めて泣くことが多かった。「おかーちゃんがいい、抱っこがいい〜」と言って私に抱っこを求めることが続いたが、しっかり抱っこして、「Kちゃんのこちやんと見てるよ」と笑顔を送って対応しているうちに、ほとんど抱っこをせずに過ごせる日も少しずつ増えてきた。

しかし、Kちゃん自身が不安定なときやいらいらしているとき、あるいは他の子が不安定で泣いて私を求めているとき、また、自分の思いが強すぎて友だちとトラブルになるときなど、手が出てしまったり、怖い顔をしてきつい言葉を投げつけ、心が荒れている状態になってしまったりすることもまだまだ多い。

それでも私が（ア）「先生はKちゃん大好きや」と言うと、ふふっと笑う。そして、おちやめな面もたくさんあり、手洗いの後にわざと水を止めずに立ち去ろうとして「せんせい、『おみずとめて〜』って留めて」と言ったり、衣服もわざと前後逆に着替え、私の周りをくるくる回って「お洋服反対や〜」と言ってもらうようアピールして、私がそう言うと、くくっと笑ったりするKちゃんだった。

10月中旬、お弁当の日を計画していた。クラスの保護者の中には、お弁当を作ることに抵抗があったり、初めてでどうすればいいかわからない家庭もあることが予想されたため、お弁当箱から中身の用意まで具体的にアドバイスをしたり、丁寧に伝えていくように心がけていた。そして保護者に働きかけると同時に、子どもたちにもお弁当の日を楽しみにできるように、また、子どもたちからも保護者にお弁当を作ってほしいこと、お弁当を楽しみにしていることが伝われば、お弁当をきっかけに親子でのやり取りができれば、と思って保育に当たっていた。そんなある日の出来事である。

<エピソード>

お弁当の日を数日後に控えたある日のおやつ後、子どもからリクエストされたお弁当に関する絵本を読んだ。子どもとも保護者ともお弁当の日の話をしてきたことで、子どもたちは数日後のお弁当の日を心待ちにしている様子であった。「お弁当の日楽しみやね〜」と言うと、「Rちゃんはでんしゃのおべんとう!」「Mちゃんはおにぎりとウインナー!」など、みんな次から次へと話してくれていた。子どもたちの表情がとても良い中、私はKちゃんの表情がいまひとつパツとしていないことが気になり、またKちゃんの家だけ直接母とお弁当の日のことを話せていないこともひっかかっており、今日こそ母と会って話をしたいと思っていた。絵本を読み終えた子どもたちは、園庭に出て友だちや保育士と一緒に好きな遊びを楽しんでいた。

園庭から室内に戻り、夕方の合同保育の部屋に移動する直前、Kちゃんが深刻な表情で私の所へやって来て言った。「せんせい、おかーちゃんにおべんとうのこと、ゆうてほしい……」と。日頃から母に自分の思いを出せていないKちゃんは、やはり母にお弁当のことを話せていなかったのだ。Kちゃんはどんな気持ちで絵本や私と子どもたちとのやり取りを聞いていたのだろう。胸が締め付けられる思いがしたが、「Kちゃん、おかーちゃんとお弁当のお話してなかったんやあ〜。じゃあ今日お迎えに来てくれたとき、先生と一緒におかーちゃんにお話しようね」とあえて明るく言うと、Kちゃんは黙って頷いた。そして、「先生、おかーちゃんがお迎えに来てくれるまで待ってるしね。お話しようね」と話しながら、夕方の合同保育の部屋にKちゃんを送った。

事務所で用事をしていたら、母がお迎えに来られた。数日親戚の方のお迎えが続いていたこともあり、母のお迎えでよかったとほっと安心した。そして帰る準備をし、母とKちゃんが一緒に歩いてきた。Kちゃんを見ると、手には以前から配布されていた手紙などを何枚も重ねて持っていた。Kちゃんは配布物を入れているケースから、自分で手紙を抜き取り、持って帰ろうとしていたのだ。真っ直ぐに私の顔を見るKちゃん。(イ) 私は「だいじょうぶだよ。お話ししようね」という思いを込めて微笑みかけ、「お母さん、おかえりなさい」と母に挨拶した。そして「お母さん、18日、お弁当の日でお弁当を作っていただきたいんですけど、伝わってたかなあ？」と言うと、「えっ？弁当?!」といった反応であった。「お母さん、ごめんね。お手紙とかお部屋に張り紙してお知らせしてたんやけど、最近なかなかお母さんにお会いできてなくて、直接お話できてなかったもんね」と言うと、Kちゃんが両手に何枚か持っている手紙を差し出す。母もそれに気付き見ようとする。「どれかなあ〜」と私はKちゃんが持っている手紙の中から探し出し、「これですね、お弁当の日のお知らせがここに詳しく書かれているんですが、18日、お弁当を作って持ってきてほしいんです。お母さん朝早くで大変やけど、Kちゃんも楽しみにしてるし。ね〜」と言いKちゃんを見ると、Kちゃんは心配そうに様子をうかがっている。少し間があったが、「買もん行かなあかんわ。冷蔵庫に何もないわ」と母。「Kちゃんと相談してKちゃんの好きなもの入れてあげてくださいね。あと、食べやすいようにおにぎりしてくれたら、ばっちりです!」と言うと、「おにぎり〜？めんどくさいなあ〜」と言いつつも「この紙はもらっていくわ〜」とお弁当の日のお知らせの手紙は自分のポケットにしまった。母は最初は少し動揺していたが、私が「よろしくお願いします〜」と言うと、いつも通り硬い表情は変えず、あつと少し頷いた。そして「さようなら〜」と送り出すと、Kちゃんは残りの手紙を両手に持ちながら、母の後ろを小走りについて帰っていった。

翌日の朝、朝の合同保育の部屋からクラスへ帰ろうと出てきたKちゃんと、クラスの掃除をしてテラスにいた私は目が合った。すると私に向かって「せんせ〜!」と呼びながらテラスを走ってくるKちゃん。その声と走ってくる表情に、今日は朝から元気で調子良さそう、うれしいなと思いながら、「Kちゃん、おはよう!歩いておいでや〜!」と声をかけたが、そのまま走ってくる。(ウ) 私は腰を下ろし手を広げ待ちかまえた。そして胸に飛び込んできたKちゃんをぎゅっとしながら、「おはよう〜」と言うと、すぐにKちゃんはさっと立ち、私の目をしっかりと見て、「おかーちゃんにな、おべんとうつくってーゆうたらな、おかーちゃん、いいよーっていわはってん!」と言った。とてもうれしそうにいきいきと伝えてくれた。私は「よかったなあ〜。おかーちゃんに『お弁当作ってね』ってKちゃんゆうたんやあ。楽しみやなあ〜」と言うと、Kちゃんは満面の笑みを浮かべ、スキップをするかのように先にクラスに入って行こうとする。さあ、何しようかな〜とKちゃんはすでに遊びに気持ちが向かっていつている。その姿に私も喜びを噛み締めながらクラスに入った。

そしてお弁当の日の当日。クラスのどの子もお弁当のことがうれしく、大事に大事に持って登所し、お弁当を調理場に預けてお散歩に出かけた。保育所に帰るとき、いつもは「いやや〜!かえらへん!」と言って座り込んだり、逆方向に走って行く子もあり、頭を悩ませるのだが、この日はみんなの大事なお弁当が待っていることもあり、子どもたちの足取りは軽く保育所へ向かって行った。

園庭にブルーシートを敷いてお弁当を食べる予定であったが、あいにくぽつぽつと小雨が降ってきていた。少しでもビクニック気分を味わえればと、室内にブルーシートを敷き、みんなで食べることにした。子どもたちがお弁当を手にしたときのわくわく感、お弁当を開けたときのなんともいえない表情、部屋中に幸せたっぶりの空気が流れていた。Kちゃんも含め子どもたちは「せんせい、みてみて〜!」と、お弁当の中身を得意げに見せてくれた。

お弁当が終わると、普段通りコットに横になり、身体を休める午睡の時間。みんなお弁当の余韻に浸りながら午睡に入っていた。Kちゃんはコットに横になると、「ああ〜、おべんとうおいしかった〜!」と、部屋中に聞こえる大きな声で言った。Kちゃんの心が満たされ、声に出して言わずにいられなかった瞬間であった。その表情はにこ〜と顔が崩れ、なんともいえない幸せそうな表情であり、私は心からこの姿を母に見せてあげたいと思った。

夕方、私はどうしても母に会ってあの幸せなKちゃんの様子を伝えたい。母がお迎えに来たとき、お弁当を準備してくれた感謝の言葉と、Kちゃんがうれしくてしょうがなかった様子、食べるたびにお弁当の中身を大事そうに見せてく

れたこと、食べ終わった後もうれしさを抑えきれず「あぁ～おべんとうおいしかった～！」と寝転びながら大きな声で言ったことを母に伝えた。母はいつもの硬い表情のまま聞いてくれた後で、「K、あんなん見せたらあかんやろ～。焼いただけやし」と言いながらも、ふふっと笑みを浮かべた。その母の表情を見て、Kちゃんは何も言わずにっこりと笑った。「お母さん、Kちゃんが好きなミッキーのかわいいおにぎりもしてあげてたじゃないですか。Kちゃん、何回も何回も見せてくれましたよ」と言うと、「先生～、朝早よからほんま大変やったで～」と言いながら帰ろうとした。でもその言葉と母が見せてくれた表情からは、母の照れと少なからず満足感のようなものを私は感じた。「さようなら～」と送り出し、母の後ろをついて歩くKちゃんの足取りはとても軽やかであった。

<考察>

このエピソードは、「せんせい、おかーちゃんにおべんとうのこと、ゆうてほしい……」と深刻な表情で思いを伝えてくれたときの衝撃と、お弁当の話を母とした翌日、「おかーちゃんにな、おべんとうつくってーゆうたらな、おかーちゃん、いいよーっていわはってん！」と伝えてくれたときの、あまりのうれしそうでいきいきとした表情がとても印象に残ったことから書いたものである。また、母と私がお弁当の話をした後に、Kちゃんも自分でお弁当を作ってほしいことを母に伝えられたのだと思うと、本当にうれしく感じた。

夕食はほぼ毎日親戚の家に食べに行き、その他の日は外食をする家庭であり、Kちゃんにとって母が料理する姿を見る機会はまずない。しかし、母が作ってくれたお弁当は、愛情が目に見えた形になったものであり、Kちゃんにとっては大好きな母を感じられる特別なものであったに違いない。そしてその様子を伝えたことと、何よりもKちゃんのにっこりとした笑顔から、母もKちゃんの喜びを感じられ、母特有のぶっきらぼうな口調ではあったが、母自身もうれしかったのがわかり、心が動いたのが実感でき、私も心底うれしかった。

4月からKちゃんと過ごしてきた中で、母に自分の思いを出せず苦しむKちゃんの姿を数々目の当たりにしてきた。母はKちゃんに対して決して愛情がないわけではないが、Kちゃんの母への思いがそのまま伝わっていないことも確かである。少しでもKちゃんと母の架け橋になればと思いながら、どのような対応やアプローチが母に合っているのかを考えてきた。Kちゃんが本当に母のことが大好きで、いつも母のことを思っていること、また、Kちゃんが見せてくれるかわいらしい姿の奥底には、いつも母の姿があり、母の存在がとても大きいのだということを伝えていきたい。保育所でのKちゃんのおもしろい行動や感心した出来事、すてきな姿をたくさん伝え、母と共感できればと思い、ささやかなことから伝えてきた。そうして母と向き合っていくと、時には母の内面の思いに触れたり、表の表現と内面の違いを感じることも出てきた。今後も母の状況を踏まえながら、母の気持ちを汲み取って関わっていききたいと思う。そしてまだまだ課題はあるが、Kちゃんの思いが少しでも母に届き、安定してKちゃんらしく過ごせる日が増えればと、強く願う。

保育士になって様々な家庭と関わってきて、保護者の置かれている状況や環境もさまざまで、それぞれに差があるものの、どの保護者も決して子どもへの愛情がないわけではないと感じている。安定して愛情が注がれている家庭もあれば、愛情のかけ方に波があったり、愛情の表現が分かりにくかったりする保護者もいる。私自身、子どもを出産するまでは、心のどこかで漠然と親は無条件に子どもを愛するものだと思っていたところがある。しかしながら、今のクラスの子供たちや私自身の1歳児の娘を見ていると、無条件に母を想い愛してくれているのは子どもの方であり、それに親は救われているところがあるのではないかと思う。少なくとも私は娘に支えられていると感じている。子どもからの親への愛情を親が感じられるということはとても大切であり、それを保護者に伝えていくことも保育士の重要な役割の一つであるのではと感じている。

(福岡県『子どもの心の育ちをエピソードで描く』、ミネルヴァ書房、2013年)

保育所民営化で聚楽保育所はどうなるの？
～保育所の民間移管について知ろう、考えよう～

参考資料

2015年7月11日

聚楽保育所保護者会 民間移管対策委員会

育みは今

保育所民営化を考える

現、仕事上で取付けた父親と保護者約30人が厳しき表情で入るの京都市職員と同様だった。1月3日、真冬の夜のとほりがおりた午後7時から、市警察保護所の中庭で、市民保護にきては保護者説明会が開かれています。願望はこの保護所の民営化だ。

赤ちゃんを抱えた母親、仕事を断った人々、今度の保護内容をどう希望するのか、移動先を決定したいという保護者は聞きなれないが――「問題は起きないが」民営化の撤回を要求する保護者の説明はかみみじくわす、話し合いは波瀾なく市内に約260カ所ある認可保護所のうち、市営保護所は25カ所（昨年

市は昨年10月、市選課4月に民営化された2カ
所6カ所を2017年所を含む。1割に満た
ずから順次民営化してい
く方針を決定した。

「降って神いた船に登
き込まれた。あまのりに強
引で性急。劇ってほしい」
と怒気を充たせる保護者
の男性。保育所の職員は
「二方面的に計画を策定し
たことは断るべきところ
があると思う」としなが
らも、「今後の児童化の
スケジュールは予定通り
」

民営化計画が進む京都市営保

【北区】	栗只	★柏岡乳児（屈當 定だが事業者決まらず）
【上京区】	細山	★室町乳児（14 月こぐま第二保育所に
【左京区】	策正	★修学学校（19年度 ★範林（17年度）
【中京区】	壬生	★朱雀乳児（14

促進姿勢崩さぬ京都市

「福祉行政報告国」(1997年4月1日時点)を分析すると、全国の20政令市の保健所に占める公立の割合は約27%。京都市は10%で、福岡市に次ぐ低さだ。

京都市は、そもそも少佐
い市模倣所のうち、計
力所を民営化し、現在の
半数近い民力所まで絞り
込もうとしている。その
理由について市は「市模
倣所と比べて高コスト
ト、厳しい財政状況の中、

今後さらなる保腎精製も見込まれ、財産確保のため民間にできることは民間に任せる」と述べる。

だが、「こまで確ることだ」とは当初から計則されていた訳ではない。

12年5月に市が制定した「市営娯楽所の今後のあり方に関する基本方針」。これに基づき児童3カ所と南区の2カ所の計5カ所を民営化する計画だった。方針の対象期間間は1年度からの5年間、17年度以降は過去5年間を検証した上で見直しとしていた。

ところが昨年8月、市は方針の期間中にも関

「コノカットの爲め
はなひ」

に子をもを預けにしない
で「これまでの民権化
のゆゑも進められない
に次々と進めるのが一
改進黨について市民の意
見を尊重すると、2月7
日件は議員が市に寄せら
れた。

そのうち約7割の18
日一件が民権化に肯定的
で、肯定的な意見はおよ
そ20件。銀禧會からも昨年
10月、民権化實現に求
める一方、4、5、6の審
議を市に提出した。改進黨
を棄ててまた民権化を

京都市が起める出資保
 有所の民営化は、全国各地
 の自治体の公立民営化の
 は、二十数年民営化の
 波にさざなまれてきた。公
 立が相つてきた役割とは
 何か、それをどのように
 継承できるのか。根本の
 ところで、民営化の質を
 どのように確保していく
 のか。民営化の問題を
 通じ、みなぎりと若えて
 いきたい。(野口雄亮)

三つハ

三つハ 本誌論議要

1998, 1999, 2000, 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009, 2010, 2011, 2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025, 2026, 2027, 2028, 2029, 2030, 2031, 2032, 2033, 2034, 2035, 2036, 2037, 2038, 2039, 2040, 2041, 2042, 2043, 2044, 2045, 2046, 2047, 2048, 2049, 2050, 2051, 2052, 2053, 2054, 2055, 2056, 2057, 2058, 2059, 2060, 2061, 2062, 2063, 2064, 2065, 2066, 2067, 2068, 2069, 2070, 2071, 2072, 2073, 2074, 2075, 2076, 2077, 2078, 2079, 2080, 2081, 2082, 2083, 2084, 2085, 2086, 2087, 2088, 2089, 2090, 2091, 2092, 2093, 2094, 2095, 2096, 2097, 2098, 2099, 2100, 2101, 2102, 2103, 2104, 2105, 2106, 2107, 2108, 2109, 2110, 2111, 2112, 2113, 2114, 2115, 2116, 2117, 2118, 2119, 2120, 2121, 2122, 2123, 2124, 2125, 2126, 2127, 2128, 2129, 2130, 2131, 2132, 2133, 2134, 2135, 2136, 2137, 2138, 2139, 2140, 2141, 2142, 2143, 2144, 2145, 2146, 2147, 2148, 2149, 2150, 2151, 2152, 2153, 2154, 2155, 2156, 2157, 2158, 2159, 2160, 2161, 2162, 2163, 2164, 2165, 2166, 2167, 2168, 2169, 2170, 2171, 2172, 2173, 2174, 2175, 2176, 2177, 2178, 2179, 2180, 2181, 2182, 2183, 2184, 2185, 2186, 2187, 2188, 2189, 2190, 2191, 2192, 2193, 2194, 2195, 2196, 2197, 2198, 2199, 2200, 2201, 2202, 2203, 2204, 2205, 2206, 2207, 2208, 2209, 2210, 2211, 2212, 2213, 2214, 2215, 2216, 2217, 2218, 2219, 2220, 2221, 2222, 2223, 2224, 2225, 2226, 2227, 2228, 2229, 2230, 2231, 2232, 2233, 2234, 2235, 2236, 2237, 2238, 2239, 2240, 2241, 2242, 2243, 2244, 2245, 2246, 2247, 2248, 2249, 2250, 2251, 2252, 2253, 2254, 2255, 2256, 2257, 2258, 2259, 2260, 2261, 2262, 2263, 2264, 2265, 2266, 2267, 2268, 2269, 2270, 2271, 2272, 2273, 2274, 2275, 2276, 2277, 2278, 2279, 2280, 2281, 2282, 2283, 2284, 2285, 2286, 2287, 2288, 2289, 2290, 2291, 2292, 2293, 2294, 2295, 2296, 2297, 2298, 2299, 2300, 2301, 2302, 2303, 2304, 2305, 2306, 2307, 2308, 2309, 2310, 2311, 2312, 2313, 2314, 2315, 2316, 2317, 2318, 2319, 2320, 2321, 2322, 2323, 2324, 2325, 2326, 2327, 2328, 2329, 2330, 2331, 2332, 2333, 2334, 2335, 2336, 2337, 2338, 2339, 2340, 2341, 2342, 2343, 2344, 2345, 2346, 2347, 2348, 2349, 2350, 2351, 2352, 2353, 2354, 2355, 2356, 2357, 2358, 2359, 2360, 2361, 2362, 2363, 2364, 2365, 2366, 2367, 2368, 2369, 2370, 2371, 2372, 2373, 2374, 2375, 2376, 2377, 2378, 2379, 2380, 2381, 2382, 2383, 2384, 2385, 2386, 2387, 2388, 2389, 2390, 2391, 2392, 2393, 2394, 2395, 2396, 2397, 2398, 2399, 2400, 2401, 2402, 2403, 2404, 2405, 2406, 2407, 2408, 2409, 2410, 2411, 2412, 2413, 2414, 2415, 2416, 2417, 2418, 2419, 2420, 2421, 2422, 2423, 2424, 2425, 2426, 2427, 2428, 2429, 2430, 2431, 2432, 2433, 2434, 2435, 2436, 2437, 2438, 2439, 2440, 2441, 2442, 2443, 2444, 2445, 2446, 2447, 2448, 2449, 2450, 2451, 2452, 2453, 2454, 2455, 2456, 2457, 2458, 2459, 2460, 2461, 2462, 2463, 2464, 2465, 2466, 2467, 2468, 2469, 2470, 2471, 2472, 2473, 2474, 2475, 2476, 2477, 2478, 2479, 2480, 2481, 2482, 2483, 2484, 2485, 2486, 2487, 2488, 2489, 2490, 2491, 2492, 2493, 2494, 2495, 2496, 2497, 2498, 2499, 2500, 2501, 2502, 2503, 2504, 2505, 2506, 2507, 2508, 2509, 2510, 2511, 2512, 2513, 2514, 2515, 2516, 2517, 2518, 2519, 2520, 2521, 2522, 2523, 2524, 2525, 2526, 2527, 2528, 2529, 2530, 2531, 2532, 2533, 2534, 2535, 2536, 2537, 2538, 2539, 2540, 2541, 2542, 2543, 2544, 2545, 2546, 2547, 2548, 2549, 2550, 2551, 2552, 2553, 2554, 2555, 2556, 2557, 2558, 2559, 2560, 2561, 2562, 2563, 2564, 2565, 2566, 2567, 2568, 2569, 2570, 2571, 2572, 2573, 2574, 2575, 2576, 2577, 2578, 2579, 2580, 2581, 2582, 2583, 2584, 2585, 2586, 2587, 2588, 2589, 2590, 2591, 2592, 2593, 2594, 2595, 2596, 2597, 2598, 2599, 2600, 2601, 2602, 2603, 2604, 2605, 2606, 2607, 2608, 2609, 2610, 2611, 2612, 2613, 2614, 2615, 2616, 2617, 2618, 2619, 2620, 2621, 2622, 2623, 2624, 2625, 2626, 2627, 2628, 2629, 2630, 2631, 2632, 2633, 2634, 2635, 2636, 2637, 2638, 2639, 2640, 2641, 2642, 2643, 2644, 2645, 2646, 2647, 2648, 2649, 2650, 2651, 2652, 2653, 2654, 2655, 2656, 2657, 2658, 2659, 2660, 2661, 2662, 2663, 2664, 2665, 2666, 2667, 2668, 2669, 2670, 2671, 2672, 2673, 2674, 2675, 2676, 2677, 2678, 2679, 26

政策変更 正当性どこに

民営化計画が進む京都市営保育所

- 【北 区】 滝宮 ★船舶乳児(国営化予定が事業者決まらず)
【上京区】 鶴山 ◎室町乳児(14年4月、こぐま第二保育所に)
【左京区】 賀正 ★保育園(19年度)
★錦林(17年度)
【中京区】 日生 ◎朱雀乳児(14年4月、月かげみどり保育園に)
★泉桑(18年度)
【東山区】 三条
【山科区】 鶴山
【下京区】 翠仁
【南 区】 ★九条(15年4月) 久世
★吉祥院(15年4月) 南
★山ノ本(18年度)
【右京区】 ひかり 弓削 鶴山
【伏見区】 ★淀(19年度) 改定
★砂川(17年度) 改定
★は児童化計画があるところ。◎は民営化済み



保護者の質問と市の説明はかみ合うことなく、説明会は夜遅くまで続いた。中京区の緊急保育所で

京都市の市営保育所民営化計画策定の流れ

- | | |
|-------|--|
| 12年5月 | 「市営保育所の今後のあり方に関する基本方針」公表
→3カ所の乳児保育所（紀尾、室町、朱雀）と南区の一部を民営化 |
| 12月 | 南区の対象園に吉祥院と九条を選定 |
| 14年4月 | 室町乳児、朱雀乳児を民営化 |
| 8月 | 「基本方針」改訂版公表
→さらに6カ所を民営化する方針示す |
| 10月 | 「基本方針」改訂版を策定。6カ所の民営化決定
→17年度：錦林、豊川
18年度：築紫、山ノ本
19年度：藤堂院、淀 |
| 15年4月 | 吉祥院、九条が民営化
17年度に民営化する園の移管先選定を始める予定 |

育みは今

保育所民営化を考える

「むくもむく」。エ 1年間は市が旧・吉祥院
フロンティアの女性保育士 保育所の場所と職員6
が、笑顔で子どもたちに 人を新園に派遣すること
のみ方の手本を現せる。 になっている。

5日、京都市立吉祥院保 施設・運営主体を民間
育所(南区)0歳児クラ 事業者に移す市立保育所
スの給食の時間。奥はこ の民営化計画。最も心配

の保育士は、吉祥院保育 されることの1つに、職
所の在籍者ではない。4 員の入れ替わりによる子
月から民営化され「育い どもたちへの影響がある

る保育園」になる移管先 各地で起きた公立保
法人の職員。4月から担 育所の民営化をめぐる訴
任の一人となる予定だ。 訟でも、引き継ぎ期間は

吉祥院保育所は201 常に争点となってきた。
2年12月に民営化が決ま これらの判例や他都市の
った。昨年4月から、移 事例も参考に、京都市は

管先の社会福祉法人「保 民営化前後2年間の引き
健福祉の会」が園長予定 継ぎ体制を敷いている。

者ら2人を引き継ぎのた 育い空保育園の園長と
め派遣し、今年1月以降 なる保健福祉の金の近隣

はクラス担任予定者ら8 遊さん(80)現住は北区
人も加わり、共同保育に の「三日月保育園」園長
あたっている。移管後も 氏は、移管先になった理

引き継ぎの難しさ

由を「全国的に保育所の び合う相乗効果もあった
民営化が進む中、コスト という。一方で「今の予
論で公的責任を後退させ どもたちの園だけではわ
ることはあってはならな からない部分があり、改
いと考えてきた。京都市 めて登壇状況や家庭環境
の民営化の流れには賛成 を含めて引き継いでい
ではないが、私達の保育 る」と簡潔ではないこと
の理念で市立保育所を引 も認める。

き継いでいければと思っ 昨年4月、初めて民営
たと打ち明ける。 化した2カ所(朱雀と壱
市立保育所と理念が共 町の西乳児保育所)で
通する部分が多く、引き 子どもたちへの影響や懸
き継ぎでは互いに民営を学 念について、市は保育所



4月に民営化される京都市立の吉祥院保育所では
移管先の保育士(奥)との共同保育をしていた
＝両区で

と保護者、市の三者協議 だけだったと指摘する。
会で把握し、解明に努め 移管先の調査は書類と
ているとする。だが、現 実地調査の計1500点弱
在のところ、市は簡潔結 出。これまで市が選定し
果を公表していない。 た4法人は「保健福祉の
園児への手厚い保育 会」の141・3点を最
以外でも、市立保育所は 高に、107・1点まで
一時保育や虐待が起きた 低減に開きがあった。

時への対応など、さまざ 選定部会で「課題を多
まな疑問を抱いてきた。 く抱えており、市の指導
それが保護者らの考える の下、市立保育所の保育
「園の高い」保育にもつ 内容をしっかり引き継げ
ながる。市は「民営化後 るよう最大限の努力を重
もできる限り現状を維持 心」と強調され、一部職員

する」と説明するが、そ から「移管先としてふさ
のためには、それだけ能 わしくない」との意見が
力のある事業者を選べる ついた法人もあった。し
かどうかを問う。

だが、12年度から3年 対的には高く評価して
間、市の「市立保育所移 いる」として選定してい
管先選定部会」の審議と る。大倉准教授はこの選定
して関わってきた京都大 方法について「一定以下
大学院人間・環境学研究 の点数は選定しない最低
科の大倉准教授(発達 点を設けることが不可欠
心理学)は取材に対し、 だ」と指摘する。

「市立保育所の水準に近 〔野口由紀〕
い心を育てる保育」を 〃〃〃〃
実現していた民間の園

は、私見では10園中3園

質の維持に課題山積

〔意見・体験談を募集〕
ご意見・体験談を募集
します。京都市局までフ
ァクス(075・241・
2152)かメール(ey
ofo@nichi.co.jp)ど
ちらでも送ってください。

育みは今

保育所民営化を考える

削減効果は丁力所（定員80人）あたり年間約4000万円。市営保育所を民営化を進める京都市の試算ではそうなる。しかし、理屈はなかなか市間の負担も膨らまなかつた。

赤ちゃんと2歳児まで預かる市営船岡乳児保育所（北区、定員80人）。2011年5月に市が決定した「市営保育所の今後のあり方に関する基本方針」に基づき、14年度から民営化しているはずだった。だが、現在も市営で運営されている。12年度から毎年、移管

市営は高コスト？



3年間、移管先が決まらない京都市営の船岡乳児保育所

市は昨年4月1日時点で、関西圏の政令市で初めて「待機児童ゼロ」を達成したと発表している。その状況で、定員を減らす必要もなくなった。市は「17年度末には今年度末と比べて約4700人の経験者で構成する「市

約4000万円の削減につながる」と期待する。現在、県会中の市議会に提案している新年度「一般会計予算案は7504億円。この規模からすると、削減で生み出す金は「保育所の整備費・運営費がかさむ中、貴重な財源になる」と市は位置付けている。

「高コスト」の内訳を見ると、最も多くを占めるのが職員給与で、次に多いのが保育料。保育料の費用、給与の高さは市営の職員平均勤続年数が長いことが一つの要因。いずれも市が培ってきた「保育の質」に関する部分ともいえる。

「野口由紀」次回回は3月10日

「ご意見・体験談募集」ご意見・体験談を募集します。京都市局までファクス(075)2241・2166(カメール)kyo@mainichi.co.jp)と母をなぐさ

試算では年4000万円削減

育みは今

保育所民営化を考える

の高麗にル群が現れる。名古屋市中村区の「げやきの本舗高麗」に名古屋で初めての市営保育所屋敷化計画が2005年末に着手上がり、民営化に反対しながらも、公的保育を望みたいと同年4月に託児所となった。「民営化によるコスト削減減額の影響でわたれた額

民間園数 公立を逆転

たのかと思つほど一瞬間が過ぎた」と斯る言ふことも多かつた。「公立の方がいい」と遠慮した人がいた。今は元氣に國産を走り回る子と私たちを思やりながら、平松園長はほろりした。

「最初に卒園児を出した時は誰もあがりませんでした。思つてくれなかつた。自治体が守つてくれなかつたという思いや、二階と戻らない子とまたのちのち探査機時代が、国産化でなくちゃいけません。どうせじきば消えなかつたらうぞ」

「機体改修」を進めた〇七年竣工の小泉政樹以降、全国

液にさらされてきた。01年4月時点で公立は1万2289カ所、民営9625カ所と公立の方が多かった。だが、08年4月には逆転し、13年4月には公立1万31カ所、民営1万4005カ所となっている。

各地で保護者を中心
に反対運動も起り、東京
都文京区や日野市、大
阪府吹田市などは、民営
化を遅らせた上で、縮小
あるいは凍結している。

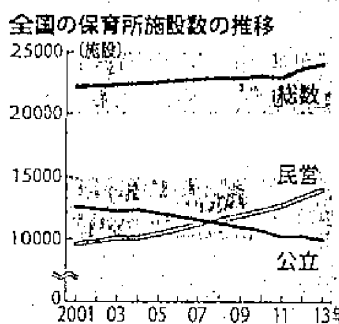
民営化取り消しを求め
て訴訟に発展した例も多

い。大阪府大東市の民営化を巡る訴訟（07年11月の最高裁決定で06年4月の大阪府裁判が確定）では、8月で「引き継いだ」として「市の引き継ぎを不年度民営化後の新保育所に混乱が生じた。当初、けがをする子どもが多く、知らない間に子どもが家に戻るなど混乱が生じた」と認定され、市の賠償命令が確定している。

横浜市の民営化では横浜地裁08年4月が「拙速民営化は違法」と原告側勝訴の判決を出した。原告の子どもが卒園後の09年11月に最高裁で

は居住する自治体での民営化に自ら同意し、反対運動を展開した経験があるなど、ひとりの民営化は決まってくる。しかし自治体は違法ではないと認めてきた。このことで民営化の知恵を絞っている」と警戒する。

児童福祉法第2条は「国および自治体は、児童の保護者とともに、児童を身ともに迎やかに育成する責を負う」と。市、公的責任を負う。「子育て環境日本一」を目指す京都市が市営保育所を14年度から、年度で半数近く減らす民営化計画。国



※福祉行政報告例より作成。いずれも4月
日時点。11年は東日本大震災の影響で宮城
県と福島県の一部、12年は福島県の一部
データが除かれている。



園町を元気に走り回る「はやきの木保育園」
の園児ら 一名古園市中央区で

して原告が敗訴したが、小法庭は「特許発明所と保衛を受けた児童と保護者は、期間満了まで、その特許を受けていることを明約できる法的立場にある」と指摘し、保衛所退園の趣意を否すなど二迎の訴訟は教訓を残した。

法政大分支部部長島本隆子(教授)(昭和時局著)

て支那新制度が4月から始まり、子どもを取り巻く制度が大きく変わる。子どもたちの健やかな「育み」につながる改革になっているのが、重点が改めて聞かれている。「野口由紀」

二〇〇わり

『廣見・林修磨集』
三〇四頁
二〇四頁
二〇五頁
二〇六頁
二〇七頁
二〇八頁
二〇九頁
二一〇頁
二一一頁
二一二頁
二一三頁
二一四頁
二一五頁
二一六頁
二一七頁
二一八頁
二一九頁
二二〇頁
二二一頁
二二二頁
二二三頁
二二四頁
二二五頁
二二六頁
二二七頁
二二八頁
二二九頁
二三〇頁
二三一回り

各地で混乱訴訟に発展

ご意見・体験談を募集
ご意見・体験談を募集
します。京都支局までフ
ックス(075-241-
2152)かメール(ot
oto@mainichi.co.
jp)でお送りください。

育みは今

保育所民営化を考える

京都市が掲げる市営案 各町区で会合進行し
民営化計画 申込

京都市が掲げる市営案 各町区で会合進行し
民営化計画 申込

議会に報告 意見聴取

自分の手の届く範囲で、
「運動服を着て、
おとと手取りで活動し
てきた」

市が昨年8月に
行った市民意見の募集で
も、民営化に否定的な意
見が多数を集めた。それ
でも市の推進姿勢は変わ
らなかった。

川崎の保育所について
「10年2月の市議会に
は、民営化の是非は受け止めて
いるが、市営保育所のあり
方については、審議会
で必ず審議しないといけ
ない」と断言している。

京都市が2017年
度から6カ所の市営保
育所を民営化する計画
の見直しを求める関係
が16日、京都市議会の
常任委員会「教育福祉
審議会」で審議され、
「民営化に慎重なま
で市議の顔も、議会の仕
組みも知らなかった。市
民は選挙に真剣に向き合
い、きちんと議案を審議
しないといけない。それは
私たちの責任だ」

「ブリッガー、レリッ
ン。2月21日の夕方、
2017年度に民営化さ
れる計画がある市営保
育所のホールでは、お
にぎり、パン、おかい
が配られていた。約30
人の親子が集まり、ピ
アの伴奏で人形アニメ
ーションの踊りを踊る。
踊りの全盛期を彷彿と
させる。後半は踊りど
ろし。京都市立人間・環
境学研究所の大倉博史教
授（発達心理学）が「親
の育み育みを促める」
をテーマに講演した。会
場で販売されたおにぎり
をかじりながら、和やか

- ◆京都市保育所の
民営化計画決定と市議会の流れ◆
- 14年8月 市営6カ所の民営化の方針を
含む「市営保育所の今後
のあり方に関する基本方針」
の公表
- 8～9月 市議会の常任委員会に報告
審議会「子ども・子育て
部会」で意見聴取
市民意見の募集 → 否定的意
見多数
- 10月 市民が市に1万4197筆の署名を
提出
市民が市議会に計画見直しを求
める陳情書提出
改訂版正式決定
- 10月30日 市議会常任委員会に決定を報告
11月 市議会に市営保育所条例
改正案を提案予定
16年2月 改正案を提案予定



和やかな雰囲気の中行われた勉強会
＝左京区の市営緑林保育所内

市の決定、揺るがぬ結論

市議会の「子ども・
子育て部会」の昨年8月
26日の部会では、基本方
針の改訂版案について審
議に「意見聴取」がされ
た。審議からは意見聴取
に「意見聴取」について
「審議ありき」の提議が
「意見聴取」がなされ、
何のための審議なのか」

「民営化に慎重なま
で市議の顔も、議会の仕
組みも知らなかった。市
民は選挙に真剣に向き合
い、きちんと議案を審議
しないといけない。それは
私たちの責任だ」

京都市が2017年
度から6カ所の市営保
育所を民営化する計画
の見直しを求める関係
が16日、京都市議会の
常任委員会「教育福祉
審議会」で審議され、
「民営化に慎重なま
で市議の顔も、議会の仕
組みも知らなかった。市
民は選挙に真剣に向き合
い、きちんと議案を審議
しないといけない。それは
私たちの責任だ」

育みは今

はぐく 保育所民営化を考える

京都市が進める保育所の民営化計画について、迎駁企画「育みは今」が、保育所民営化を考へる。昨4月4日から6回にわたり取り上げた。これを受け、市の子育て政策の最高責任者、江口尚志子育て支援政策部長は18日、毎日新聞の取材に応じた。江口政策部長は当初予定の5カ所に追加して6カ所の民営化計画を策定したことについて「今後、社会保険や子育て支援のニーズは増大する。国で定めたことは民間でもの方針に導き、保育所も一定の効率化を図り、財源を確保しなくてはならない。市民にわかりやすく、理解を求めた。民営化の対象とならないうちに、移転先が決まっていなかった船岡乳児保育所(北区)については、個人的な意見で、上、下、今の状況のまま、新年度も公募をかけるのは難しい」と述べ、計画撤回に否定的な見解を示した。

【野口尚志、藤田文彦】

主なものとしては、下の、審議会分科会の最終意見で、子育て支援ニーズが拡大する中、財源を生み出すため、すべてを市営保育所でやる必要はない。01年12月の社会福祉と運営を受けた。市も民

「民」活用し水準高める

京都市政策責任者に聞く



京都市政策責任者に聞く
市営保育所の民営化を考へる
江口尚志子育て支援政策部長

でできるのは「民」の方針であり、その後、民営化を進めている。市営保育所に通う子どもたちにも民営化は必要。昨4月に京都市の認可保育所に入った約9000人の子どもの9割が民間に在籍している。公・民ともに全体の保育の水準を高めたい。民営化では引き継ぎをしっかりと、子どもへの影響を少なく、保護者の不安を払拭していく。

（民営化圏にいる）個々の子どもへのメリットというよりも、全体的なものを考えなければいけない。民営化で運営を効率化できる。民間でも保育児への職員配置基準を定めるなど、底上げしてき

た。地域にある身近な希望園に入れるのが今後あるべき姿。一入所しやすさ、保育行政を進めたい。民営化で影響を受ける子どもはいるはず。市が目指す「子育て環境日本一」にはならないの

は。市営と民間で異なる保育所への職員の配置基準を統一していく方針だが、保育士不足の中、人材を確保できるのか。京都市は保育士を養成する大学も多く、雇われた。3歳児以降の受け入れ先を確保することが難しいという理由だった。今後については、個人的には別の手立てを考えないといけないと考えている。今の状況のまま再公募するのは難しい。

市営はしない。昨年4月1日現在で「特設児童ゼロ」を達成し、就学前児童の保育所入所割合は43.5%に達した。それだけ入りやすい環境を築いてきた。民営化推進は民営化を反映していないとの批判がある。市のパブリックコメント（市民意見の募集）でも否定的な意見の保育行政の力不足で

がなかった。京都市はたきざん保育所を作り、就学前児童の入所割合が政令市で2番目に高く、入所しやすい状況になっている。

「意見・体験談募集」は、意見・体験談を募集します。京都市局までファクス（075・2241・2155）かメール（k.yoto@mainichi.co.jp）へお送りください。

育みは今

保育所民営化を考える

京都市の市営保育所を民営化する計画について取り上げた「育みは今」保育所民営化を考える(3月4日から連載5回と番外編2回)には読者から多数の感想や意見が寄せられた。ツイッターやフェイスブックといったSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)でも記事が保護者や保育所関係者らに読まれた。届いた声の一部を紹介する。

【野口由紀】

◆障害児さらに取材を 子どもの話は我が事のように感じられた。このように「障害児保育 どういう現実をもっと知って維持？」では、市営保育所での障害児に対する手厚い保育を、民営化後どのように確保できるかをテーマにした。「家族内に障害者がお

り、今回の障害をもっただけでなく、人材や経験

反響特集



4月に民営化される市営吉祥院保育所では移籍先の職員が絵本の読み聞かせをしていた＝両区で

が不足しているためだ。受け入れ可能な民間園に障害児が集中する問題もある。継続取材してほしい――民間園の職員

◆市議会の役割に疑問も 17日掲載の「市の決定、掘るがぬ結露」では、民営化計画の政策決定に議会はどのような役割を果たしたのか経過をたどった。

「市議会の教育福祉委員会でこの議題不採択はとも残念ですが、いかに市の審議会や市議会でも民営化についてきちんと議論されていなかったが、よくわかり、少し救われました。気が滅入ることも多

いですが、めげずに民営化する市営保育所の保護者からは、取材をさらに深めてほしいとの要望もあつた。

「毎朝、迎送を保育所の窓に貼り出した。今後はファイルにしてたくさんの人に配布して問題を共有したい」――女性

◆民間園からも 民間保育所に子供を通わせる保護者や職員からも感想が寄せられた。

「私の保育園でも連載が話題となっている。京都自慢の公立保育所を運営が厳しいからとどんどん民営化するやり方はいかがなものかと思う」――民間園の職員

「市内の保育所で痛ましい事故が続いている。コスト削減のために市営保育所のような一定水準以上の保育所を減らすことで、弱い者にしわ寄せが行くのではないかと心配している」――民間園の保護者

◆取材深めて 民営化の見直しを求め

「意見・体験談募集」

現状知り 問題共有を

ご意見・体験談を募集します。京都支局までファクス(075・241・2152)かメール(yoto@mainichi.co.jp)に送ってください。

育みは今

保育所民営化・紙上討論

京都市が2014年度から計1カ所の市営保育所を民営化する計画を進めている。今年4月に国の子ども・子育て支援新制度が始まり、保育の運営主体や事業形態が多様化する中、自治体は公立保育所をどのように位置付けていくのか。また、差し迫った課題とされる待機児童解消のため、公立保育所の民営化は本当に避けられないのか。民営化にあたり保育の質を維持するにはどうすればいいのか。保育政策の専門家に2回にわたり聞いた。

市営保育所の民営化計画 一方で保育所の整備や開園に県民がたいがら 運賃には税金を使う。税金が、どのような京都市の公平性を考える、公立の保育所を目指すのか、また、立が必要以上に高コストであれば、一定程度は効率が上がる。その上で、民営化が必要かどうか検討すべきだが、その流れがない。

公立でも民間でも保育の質や基準は同じであるべきで、公立が民間かという問題は、本質的なものではない。

公立位置付け明確に

保育システム研究所・吉田正幸代表

公立・民間関係なく当然ながら、子どもと財源をつけるべきで、コスト論で割り切っているわけではない。

4月に始まった「子ども・子育て支援新制度」でいろいろな事業主体が参入してくる。そこを踏まえて行政が公立をどう位置付けるのか。その議論が京都市に限らず全国に広がっている。公立の



よしだ・まさゆき 1957年生まれ、福岡市出身。大阪大学人間科学部卒。教育専門誌の記者を経て、子育て支援政策のシンクタンク「保育システム研究所」(東京都港区)代表。厚生労働省社会保険審議会少子化対策特別部会委員など歴任。京都市のほか、千葉県浦安市、東京都品川区など複数の自治体の子ども・子育て会議の委員を務めている。

4億円の削減。市の財政を考えるとそんなに大きい額でもない。民営化した場合、残った公立は地域の拠点にして、予算も重点配分すべきだ。そうすると実はそんなに財政削減にはならない。

待機児童解消のために民営化は欠かせないかと聞かれたら、大きなところで関係ないとは思わない。ただ、受け入れ人数を増やすには、公立よりも民間を頼る方が財政負担が軽く、無償できない要素だ。あと5、6年で子どもの数が減少し、不要な保育施設を閉鎖しなければいけない。閉鎖した時、公立を閉めるのは大変な努力が必要。自治体がソフトランディングの戦略として民間を増やすことはありえる。

【聞き手・野口由紀】

全体像を描くことから

ご意見体験談募集

ご意見・体験談を募集します。京都支局までファクス(075・241・2152)かメール(kyoto@mainichi.co.jp)でお寄せください。

保育は 今

保育所民営化・紙上討論

—下—

京都市はもとより市営保育所が少ない。2005年ごろから全国で公立保育所の民営化が加速したが、それでも全国平均で4.5割が公立。それに対して京都市は市営が1割程度だ。

数少ない市営を民営化する理由として市はコスト削減を挙げる。確かに民間と比べると市営の方が1カ所（定員60人）あたり年間4000万円程度、運営費が高い。内訳の最大の要因は給与だが、市営が高いのではなく、民間の物産費の短さや公・民の給与格差などから低コストになっているに過ぎない。

市の資料によると、市営の平均物産費は15.2年、民間は11年。保育の質を考えると、極端の月1日時点で95人の待機

あるベテランの職員を確保できるかどうか。物産費が長い市営は高コストだから民営化した方がいいとの考えは、物産費の長さを長しとしない発想にすぎない。

公立は地域の水準モデル

京都華頂大・藤井伸生教授「社会保障論」



ふじい・のぶお 1950年生まれ、岡山県津山市出身。観谷大学院文学研究科社会福祉学専攻博士後期課程単位満了。京都華頂大現代京政学部教授。専門は社会保障論。保育制度の充実を求める「京都保育運動連絡会」の会長も務めている。共著に「保育新制度 子どもを守る自治体の責任」（2014年、自治体研究社）などがある。

児童が誕生している。かつて市営は年度当初の4月は定員の80%程度の受け入れでスタートし、途中入所を受け入れる役割を担っていた。だが、今では市営も1月にめいっばい入れている。例によって1年中入所できる場所が必要だ。

市営が率先して行っている子育て支援拠点としての役割も、市営が減少することで機能が弱まると、市営の職員は公務員としての待遇の低下などがある。国の子ども・子育て支援新制度が始まり、事業主体が多様化する中で、

ご意見体験談募集

ご意見・体験談を募集します。京都支局までファクス（075・241・2152）かメール（kyoto@mainichi.co.jp）でお送りください。

「市営」確保し底上げを

京都市

船岡保育所 民営化断念

北区 17年度から「楽只」分園に

なみは今

市営保育所の民営化計画を進める京都市は5日、対象になりながら2017年から3年連続で移管先が決まらなかった市営船岡乳児保育所（北区）につい

て、民営化の断念を表明した。17年度から別の市営保育所の分園として位置付ける。5日夕に開催した市営保育所移管先選定部会（部会長・安保千秋弁護士）で報告した。

市営船岡乳児保育所は0歳児と2歳児が対

象。12年5月に市が策定した方針に基づき14年度から民営化する計画だった。就学前までの6年間を通じた保育のできることを条件に、移管先を12年度から毎年公募し続けたが見つからず、昨年度は定員60人を30人にまで

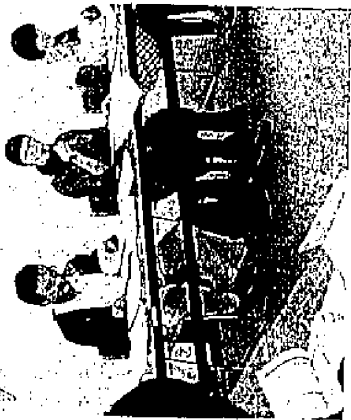
引き下げたが、それでも決まらなかった。

市保育課は「3年連続で移管先が決まらなかったため、新たな取り組みが必要として、就学前の5歳児までが対象の市営楽只保育所（北区）の分園として位置付け、6年間一貫した保育をしていく方針という。【野口由紀】

「保育の質維持を」

民営化計画 保護者、京都市に要望

京都市が定める市営保育所の民営化計画をめぐり、移管先を選定する市の部会（部会長・安保千秋弁護士）は9日、今年中に民営化される予定の各所の保護者らに対し、意見聴取をした。保護者らは移管先が決まらないうちに、保育の質が維持されるよう一定の要求を出し、意見を述べた。【野口由紀】



京都市保育所の民営化について保護者と市が協議する部会。上から左が部会長・安保千秋弁護士、右が市保育課長。

部会は9日夕に開催された。昨秋、6カ所の市営保育所が17年度から順次民営化すると決定。船岡（北区）と船山（伏見区）の両保育所が17年度の移管対象で、市は移管先選定部会の設置に際し、10月中旬・下旬に移管先の案を決定する予定だ。

船山保育所の保護者らはまず「民営化は保育の質が下がるのでは」という懸念を表明。また、

子供と保護者の距離を縮小してほしいと要望。今秋までに市が民営化した各所の移管先の距離が141・3キロを平均に、107・1キロを目標とすることを求め、距離の短縮を要望。また、移管先が決まるまで、子供と保護者は不利な状況にあると訴えた。

を懸念している」として一定の距離を希望する保護者を整理しないよう求めた。

船山保育所の保護者らも同様に距離の短縮を求め、また、市営保育所が手厚く育ってきた幼児の受け入れについて「民営では受け入れられず、やっばり親と船山に人所でさした方がいい」と述べ、今後距離を短くしてほしいと要望。また、今秋の移管先決定まで、子供と保護者の関係が壊れることを求めた。

特集ワイド

ニュースアップ

京都支局 野口由紀

大丈夫？弱者のセーフティネット

京都市は今年5月、保育所の「待機児童ゼロ」を今年度で達成したと発表し、「快挙」と称した。だが、やむを得ず市の助成金で生活する「弱者」は、待機児童ゼロ達成後も、市営保育所の運営に負担がかかる。弱者のセーフティネットの在り方が問われている。

待機中でも

カウントされず

京都市は今年5月、保育所の「待機児童ゼロ」を今年度で達成したと発表し、「快挙」と称した。だが、やむを得ず市の助成金で生活する「弱者」は、待機児童ゼロ達成後も、市営保育所の運営に負担がかかる。弱者のセーフティネットの在り方が問われている。

京都市 保育所「待機児童ゼロ」発表の陰で

進む民営化

障害児受け入れは



京都市は今年5月、保育所の「待機児童ゼロ」を今年度で達成したと発表し、「快挙」と称した。だが、やむを得ず市の助成金で生活する「弱者」は、待機児童ゼロ達成後も、市営保育所の運営に負担がかかる。弱者のセーフティネットの在り方が問われている。

数値目標重視

中身置き去り危惧

京都市は今年5月、保育所の「待機児童ゼロ」を今年度で達成したと発表し、「快挙」と称した。だが、やむを得ず市の助成金で生活する「弱者」は、待機児童ゼロ達成後も、市営保育所の運営に負担がかかる。弱者のセーフティネットの在り方が問われている。

京都市は今年5月、保育所の「待機児童ゼロ」を今年度で達成したと発表し、「快挙」と称した。だが、やむを得ず市の助成金で生活する「弱者」は、待機児童ゼロ達成後も、市営保育所の運営に負担がかかる。弱者のセーフティネットの在り方が問われている。

京都市部会 最低合格ライン見送り 保育所移管業者選定で

なみは今

2017年度に民営化を予定する京都市営保育所2カ所の移管先を選定する市の部会



市営保育所の移管先の募集要項について審議する部会の委員ら
—中京区で

（部会長・安部千秋井）部会が要望した最低合格ラインの設置は委員多数の反対で見送った。民営化後の宗教行事のあり方や、障害児らへのきめ細やかな保育をどう継承するかに

（部会長・安部千秋井）部会が要望した最低合格ラインの設置は委員多数の反対で見送った。民営化後の宗教行事のあり方や、障害児らへのきめ細やかな保育をどう継承するかに
も多くの審議時間を費やし、改めて保育事業を引き継ぐ難しさが浮き彫りになった。
市は昨年10月、6カ所の市営保育所を17年度から順次、民営化することを決めた。17年度は錦林保育所（左京区）と砂川保育所（伏見区）が対象で、今月5日の部会では両所の保護者が「保育の質を下げないよう、合格最低ラインを設けてほしい」と意見表明していた。22日の部会では委員一人が賛同したが、他の委員は「受託ならインを引くことが難しい」と反対。丁寧な審査し、適切な事業者がなければ「該当なし」との選択肢もあり得ることを確認した上で、最低ラインは設定しないこととした。
移管後の事業者に対して市は「当分の間、（一般的なものの以外）宗教行事をしないこと」を求めているが、市内の認可保育所や幼稚園などを運営する事業者には宗教系も多い。委員からは「どこまで一般的なのか線引きが難しい」と意見が出た。クリスマス会など市営で実施しているものは可能とし、お祈りや講話などを含めた宗教行事・行事はしないことを明記することにした。
市営保育所が手厚くしてきた障害児ら配慮が必要な子供たちへの保育について、保護者から継承を求める声が相次いだことを受け、

市は審査の項目を細分化し、評価の配点も高くすることにした。
市は近く募集要項を確定し、7月から移管先を公募する。

【野口由紀】